



平成31年3月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

県漁業士会総会の開催



高田指導漁業士（いとう漁協）が議長となり議事が進められました。

第25回県漁業士会総会が2月1日に伊東ホテル聚楽にて漁業士、来賓等約90名が参加して開催されました。総会では県行政との意見交換会や県外漁業者との交流、各地区での水産教室等について活動報告が行われ、今年度も引き続き活動を行っていくこととなりました。また今年で定年となる浜野指導漁業士（いとう）、新たに漁業士に認定された肥田指導漁業士、竹内青年漁業士（ともに南伊豆）が紹介されました。総会に引きつづいて研修が行われ、水産庁の藤田企画官（前県水産局長）から水産改革についての講演がありました。東部地区からは24名の参加があり、他地区漁業士と意見交換も行われました。

気候変動の影響と適応シンポジウム

2月11日、沼津市で環境省・県環境政策課主催の気候変動の影響と適応シンポジウムin東部が開催され、勝俣環境大臣政務官及び環境省は国内産業に対する影響と適応について、県環境政策課、県農林技術研究所は県の取り組み及び対策技術開発について、伊豆分場は気象海象の変化ときんめだい漁業の状況についてそれぞれ発表しました。出席した伊豆、い

とう漁協の組合長、定置漁業協会会長からも漁況変化について発言がありました。



解説：気候変動：地球の表面温度の長期的な上昇など気温、降水量、雲などの変化。地球温暖化など人為的な要因による気候変動に対する関心が強まっている。

磯焼け対策全国協議会で成果発表

2月22日に東京で開催された磯焼け対策全国協議会において、西伊豆でのガンガゼ採捕について発表しました。沼津内浦湾でのガンガゼ駆除とホンダワラ類の種供給によるガラモ場回復の成果を実証しようと、ガンガゼの多い西伊豆海域で試験を行っています。漁協と釣餌業者と当場の3者が協力し、藻場の回復と駆除したガンガゼの有効利用、さらにガンガゼを目的とした潜水漁業の検討を続けています。その成果について発表しました。



↑磯焼け対策全国協議会の様子

解説：ガンガゼと磯焼け：ウニの1種ガンガゼは主に海藻を食べるため、増え過ぎると海藻がなくなる磯焼けとなる。その状態をウニ焼けともいう。

3月の予定 ●フェリーを利用した西伊豆産水産物の試験流通を実施します。 ●キンメダイ蓄養研究のために、キンメダイの捕獲を行います。 ●キンメダイ漁場におけるサメ、バラムツの食害対策を行います。 ●天草作柄を予測するため、潜水調査を行います。 ●7日に静岡市で静岡県キンメダイ資源管理型漁業実践推進漁業者協議会が開催されます。 ●8日の下田市水産・海洋学講座で「伊豆地域の定置漁業」について講演します。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>